

TP+ベバシズマブ療法を受けられる患者様へ

TP+ベバシズマブ療法について

TP療法とは、パクリタキセル(T)とシスプラチン(P)とベバシズマブ（アバスチン）という違う作用の抗がん剤を組み合わせる治療です。

投与スケジュール

1日目は2種類、8日目と15日目はイリノテカンのみ投与します。28日間を一区切り(1コース)とします。



1コース目

2コース目

ここに示したスケジュールは参考であり、患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

点滴で投与する薬について

生理食塩液
カリウム、マグネシウム

腎臓への障害を予防します。
60分かけて投与します。

デキサメタゾン
ファモチジン
クロルフェニラミン
グラニセトロン

吐き気止め、アレルギー予防のお薬です。
30分かけて投与します。

パクリタキセル (mg)

抗がん剤です。
3時間かけて投与します。

シスプラチン (mg)

抗がん剤です。
60分かけて投与します。

フロセミド
生理食塩液

利尿剤です。
腎臓への障害を予防します。
60分かけて投与します。

生理食塩液

お薬を洗い流します。
5分かけて投与します。

ベバシズマブ (mg)

抗腫瘍薬です。
初回90分、2回目60分、3回目以降30分かけて投与します。

生理食塩液

お薬を洗い流します。
5分かけて投与します。

副作用について

自覚できる副作用

アレルギー反応
急性嘔吐

熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

遅発性嘔吐
食欲不振
便秘 倦怠感
筋肉痛・関節痛

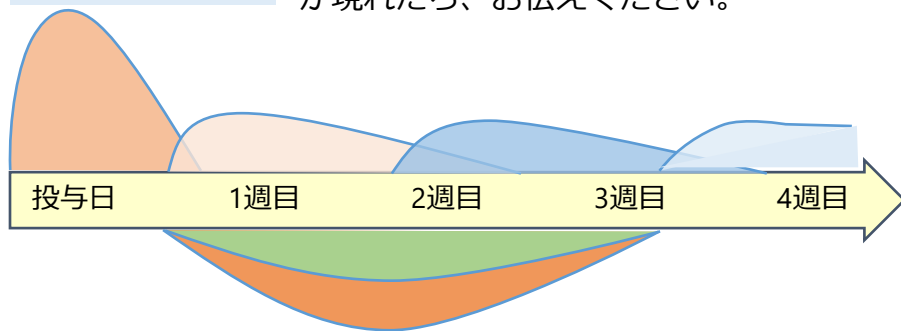
気持ちが悪い時には我慢せずに申し出てください。他にもお薬があります。

口内炎 下痢

口内炎・下痢・便秘にはお薬が有効です。遠慮せずに申し出てください。

脱毛
末梢神経障害
味覚の変化

髪の毛は、治療終了後半年くらいで再び生えてきます。
手足のしびれ、感覚が鈍くなるなどの症状が現れたら、お伝えください。



肝障害 腎障害

白血球減少
血小板減少

感染予防のため、手洗いをこまめにしっかり行いましょう。38℃以上の発熱がある場合は病院に連絡をして下さい。

自覚できない副作用

その他にも気になる症状がありましたら、お気軽に医療スタッフまでご相談ください。

パクリタキセルはアルコール（ビールでジョッキ1杯(500mL)程度）を含んでいますので、お酒を飲んだ時のような症状（顔がほてる、眠気等）が現れることがあります。
点滴をする日に車で来院することは控えてください。

内服薬について

1日目	2日目	3日目	4日目

吐き気止めのお薬です。吐き気が無くても服用してください。

ベバシズマブの副作用について

治療の継続に伴い、**高血圧**、**タンパク尿**がみられることがあります。血圧を下げる薬を使用することがあります。
重篤な副作用として、**出血**、**消化管穿孔**、**血栓塞栓症**などが報告されています。血が止まらない、通常と異なる激しい痛みが生じた場合には、直ぐに病院に連絡してください。

日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部
川崎市中原区小杉町1-396 ☎(044)733-5181